

**栄光園だより**  
第94号  
2014年1月30日発行  
発行  
社会福祉法人 栄光園  
別府市南荘園町3組  
〒874-0904 電話(23)2827  
振込口座 01930-2-20748  
編集 広報誌編集委員会  
印刷 大野印刷株式会社  
別府市青山1-7 電話(21)0505

# 子どもたちを師と仰いで

児童養護施設 施設長 江口 敏一

栄光在天！

昨年は、皆様の温かいお支えと励ましをいただき、創立61年目の歩みが続けることができ感謝でした。日々の歩みに変化はありませんが、新年の節目は、竹の節の譬えのごとく、天に向かって強く逞しく育つ上で大事にしたいものです。栄光園では、大みそか5軒のホームで紅白歌合戦に聞き入り、年越しそばをいただき、幼児らが寝入っている中、中高生は除夜の鐘を聞きながら新年を迎えました。元旦の朝は、雑煮をいただき、一段落して、乳児院の乳児たち・幼児たち・養護の児童・職員全員が一堂にそろう、新年の挨拶をし、子どもたちにとって最も楽しいお年玉をひとり一人が神妙な面持ちで両手を添えていただきました。

また、例年、年のはじめに、全職員に対して理事長の年頭の辞があり

ます。

本年、友永理事長は、挨拶と笑顔の重要性を説かれました。実際、日常生活の中でしあわせを測るものさしは笑顔です。朝、子どもたちが「おはようございます」と笑顔であいさつされると一日が大変うれしくなります。私たち職員自身が、率先垂範して明るい笑顔で子どもたちに「おはようございます」と心を込めて言えているかどうか、自己覚知と自己向上の努力が求められます。

職員の専門性は、子どもたちが園を巣立ち、社会に明るく羽ばたくのに必要な肯定的な人生観・価値観の構築支援だと思っております。この支援できる専門性の発揮はその根底に挨拶と笑顔が欠かせません。笑いの絶えないホームを目指してわれわれ職員も日々努力していきたいです。

先日、高校受験を控えているにも

かわらず、生活の乱れがありちゃんと挨拶できない男児を高校3年でこの春園を巣立つ男児が諫めているところに出くわしました。ホームの玄関前の寒い現場でしたが、「自分たちが卒園すると、お前たち後輩がしっかりしないと園の雰囲気も秩序もダメになるではないか。やるべきこと・なさねばならないことをわきまえ、目前の高校入試になぜ全力投球しないのか。」と迫っているのです。その子の数年前の状況を知っている私のほうが、その成長ぶりに目頭が熱くなるのを覚えました。

聖書(1コリント3:1-9)に、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださるのは神である。だから、植えるものも、水を注ぐ者も、ともに取るに足りない。大事なのは、成長させてくださる神である。」もし、神のみわざを取り除いたなら、そこには何も残らないということが示されています。私たちの人生を確かに導いてくださる方がいることを確信して、謙虚に子どもたちの養育に当たらなければならぬことを教えられます。

養育困難な子どもたちは、私たち職員の専門性を高めるための師として栄光園に来ていただいていることを心に留め、この一年をはじめようと決意した次第です。

今年もよろしくご指導ください。

あけまして  
おめでとう  
ございます



いつも社会福祉法人栄光園に対する格別のご厚誼を賜り、心から感謝いたします。

本年も相変わりがませずご指導・ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2014年 正月

社会福祉法人 栄光園

理事長 友永 丈一

児童養護施設 栄光園

施設長 江口 敏一

乳児院 栄光園

施設長 熊谷登喜子

青山保育所

所長 小久保次郎

野口保育所

所長 本庄 智宏

職員 一同





**乳児院**  
**メリークリスマス**  
 保育士 得能 三志郎

今年も乳児院にクリスマスがやってきました。まずは、24日にクリスマスパーティーをしました。食堂に行く、いつもと違うクリスマスのテーブルクロス、雰囲気を感じたようで部屋に入るなり、ニコッと笑顔が見られました。そして、大きなチキンが登場すると「うわあ」歓声があがりました。そのほか、チキンライスにポテトサラダ、コーンスープなど子どもたちの大好きなメニューばかりで、終始笑顔でたくさん食べていました。就寝時には、「サンタさん来るかなあ」と呟きながら眠る子どもたちもいました。そして25日には、サンタさんがやってきてプレゼントをもらいました。サンタ

さんを見るとニコッと笑う子どもやビツクリして固まってしまふ子ども、泣いてしまふ子どもとたくさん表情が見られました。プレゼントをもらうとほとんどの子どもが笑顔になり、とっても喜んでいました。その後は、もらった玩具で夢中になって遊ぶ姿が見られました。今年のクリスマスも子どもたちの笑顔がたくさん見られ、楽しい時を過ごせたのではないかと思います。

### もちつき

心理士 大石奈央子

12月28日、毎年恒例の「もちつき」をしました。12月は、自衛隊の方や上戸OBソフトボールクラブ有志の方々によるもちつきがあったため、この日は今年3回目のおもちつきということもあり、子どもたちはお手のもので、大きな杵を



職員が交代でおもちをついていると、子どもたちからの「がんばれー!!」の応援大合唱があり、職員も自然と力が入り、あつとついで間におもちつきが終わりました。その後、子どもたちは、つきたてのおもちを皆で丸めました。「みて〜まるまる〜」と上手に丸めて職員に、ニコニコしながら話してくれました。中には、待ちきれず、丸めるとすぐに食べてしまっ

### 乳児院の外の壁をリニューアル

総主任 安西 恵子

乳児院の壁一面に乳児院の保育士が、子どもたちの大好きな絵を書きました。

東側園庭には、みんなの人気者アンパンマン。西側には風船や、花たち。北側には、サンリオシリーズのマイメロディーと乳児院は沢山のキャラクターでいっぱいです。子どもたちは、絵を見ながら外に遊びに行けるの



で毎日外に出るのが楽しみで大喜び。「アンパンマン、バイキンマン」と沢山の声が聴こえてきます。是非一度、皆さんも、かわいいキャラクターたちを乳児院に見に来てください。



### 青山保育所

新しい年が明けました。急に寒くなりましたが、子どもたちは元気いっぱい遊んでいます。そんな子どもたちの様子をお知らせします。



### 運動会、頑張ったよ!

10月に運動会を行いました。残暑厳し

### 児童養護施設

### マツモトホームの食育について

児童指導員 太田 有香

マツモトホームは、現在3歳から小学校3年生までの男女6名の子どもたちが生活しているホームです。今年度の食育目標は、①よく噛んで食べる②食事マナーを意識することの2点です。促すだけでなく、大切さを知らせたり、繰り返し知らせていくなかで身に付くように支援しています。食事中声掛け

ばかりにならないようにするため、食事前に話す時間を設けています。気をつけてほしいことを伝えたり、子どもたちに「今日は何を頑張る?」と聞いたりします。聞く子どもたちは「よく噛む!」「三角食べ!」「前を向いて食べる!」などの答えが返ってきます。そして気を付ける姿があります。またお皿の位置を「ここがいいの?」「これで合ってる?」などと確認し、間違いがあれば正しい位置に並べ直す子どももいます。このような言動から子どもたちも食育目標を意識し、取り組んでいることを実感します。子どもたちは調理にも目を向け始めました。調理実習では、したい作業を伝える子どもとそうでない子どもがいますが、言葉はなくても他の子どもがしている時

に食い入るように見つめていたり、促すと応じたりと皆興味を持って最後まで取り組んでいます。そして食事時には「〇〇が作ったけんおいしい」「楽しかった」「作ってくれた人のありがたみが分かった」との言葉もありました。また調理実習後、食事作りのお手伝いを希望することも増えたように感じます。食への興味や関心を持つことのできる良い機会になりました。今後このような機会を設けていきたいと思っています。

栄養士 佐藤 朱美

食育の前に気をつけることを確認することにより、マツモトホームでは食事中にふざけてしまつても少しの声かけで、はつと気づいて直そうとする姿が見られます。このことから食事の前の声かけは、自分の中で気をつけることを再確認できると同時に、今からの食事の目標として意識ができることから、とても大切な取り組みだと思えます。これからも是非、この取り組みを続けていって欲しいと思います。

また、子どもたちは調理にも興味を持ちました。子どもたちは調理にも興味を持ちました。子どもたちは調理にも興味を持ちました。子どもたちは調理にも興味を持ちました。

### 「食前の祈り」

子どもたちは「食前の祈り」をして食事を始めます。



しょくぜんのいのり  
 かみさま  
 あなたのつくしみにかんしゃし、  
 このしょくじをいただきます。  
 このしょくじを  
 よういしてくださったかたがたと、  
 これからだかくわたしたちを  
 しゆくふくし、  
 わたしたちのころからだを  
 ささえるかとしてください。  
 わたしたちの  
 しゆいエスキリストによつて  
 おいのりいたします。  
 アーメン

このお祈りは、日々の生活への感謝、生物の生命を生かす育ててくださる神さまへの感謝、農業や漁業など従事している方々、その食材を運び販売する流通業や販売業に携わっている方々、そして調理・盛り付け・配膳する方々への感謝を表します。そして、これらの感謝の思いを通して、わたしたちの心と体を支える糧となるように願うのです。

私たちは生命体「いのち」を口にすることによって私たちの「いのち」が維持されているのです。進んで食べられたいと思っている命はないかもしれませんが、私たちが生きながらえられるのは多くの命の犠牲の上であることを心に留める必要があります。

世界で12億頭いるといわれる牛は1kg太らせるには穀類が10kg必要だと言われております。世界中が肉食をやめれば、世界70億人の食糧危機がなくなると試算する学者もいます。自分のしあわせだけでなく隣人のしあわせも考える心のゆとりが欲しいものです。

「あなたたちは偶像を造ってはならない。」

レビ記26章1節

青山保育所 小久保次郎

個人の信仰の範疇ですが、こと人類全体にかかわる偶像に関する限り、人間の行為は常に結果的に、人類の生存自体の問題を含んでいるのです。実は、私自身がキリスト教に関心を持ち始めたのは、1960年代後半から激しくなり始めた公害問題がきっかけでした。人類の生存、健康、生活を猛烈に否定しながらも、人類の幸福のための経済発展の必然性という現実の二律背反に、耐えきれなくなつたのが契機でした。神に原点を持つというこの大切さをキリスト教から私は教の推移の延長である未来は、必ず人類にとも地球全体にとつても厳しい結果をもたらすはずだと。造物主となられた私たちの真の教師は、天地を創造された神です。神に立ち返り、神の声を聴く者でありたいと思います。



**運動会**  
 10月12日に運動会を行いました。予定では10月5日でしたが台風のため、初の延期でした。小さなクラスの子どもたちは、緊張や親元から離れて少し涙することもありました。保育士と一緒にかけっこをしたり、大好きな曲がかかると笑顔で体操したりしていました。

新しい年が始まり、子どもたちはいつもより長いお休みを満喫した様子で、色々な出来事をたくさん話してくれました。子どもたちの楽しそうな笑顔を見ると、今年も可愛い子どもたちと一緒に楽しい毎日を通していききたいと思えました。毎日元気いっぱいの子どもたちの昨年の秋から冬にかけての参加した行事を少しずつですがご紹介いたします。

### 野口保育所



つたようでお迎えにきたお家の方に早速お話をいたしました。会場でも最後まで座って見る事ができました。来年もまた行こうね。



**親子遠足**  
 10月23日に恒例の親子遠足をを行い、大型バスに乗って大分農業文化公園まで芋ほりに行く予定でしたが、台風による雨



また年中・年長児はたくさんのお客さまの前で緊張しながらも、プログラムをこなす姿は、たくましくかっこ良かったです。0歳児クラスから年長クラスまでかけっこや体操をしたり、保護者と一緒に競技をしたりとみんな心地道い汗をかいて楽しく過ごしました。



11月1日に保育園で植えたさつま芋やみんながバーベキューがしたいということで、園庭でバーベキューをしました。天気も良く、園庭やテラスに出てバーベキューセットを囲み

### バーベキュー

は大きなバスに乗る事や保育園の友達や職員・家族のみんなと行くうみたまごも新鮮だったようで、「楽しい！うみたまごの方が良かった」など海の生き物を見たり触れたりバスの中でも大賑わいでした。子どもたちにとって楽しい1日になったよう職員もうれしい限りでした。



のため「うみたまごへ行きま



**発表会**  
 今年も全員参加することができた発表会！可愛い衣装に保護者の方やお客さんから「かわいい」と声援をうけ、子どもたちはいつもの取り組みの成果を十二分に発揮し、踊りや歌・劇遊びなど自分なりに表現したり、お友達と協力して表現したりと楽しい発表会になりました。

### また食育



また食育の一環で、毎月1・2回給食をバイキング形式にして、自分でお皿に取って食べるという事をしています。その成果がバーベキューでも発揮され、自分で網から取って食べることもとても上手でした。



**秋の遠足、楽しかったよ**  
 ばんだ組、きりん組、ぞう組はバスに乗って、志高湖に行きました。鯉に餌をあげたり、湖の周りを探検して、木の



**交通安全指導**  
 今年も、交通安全指導が行われました。交通安全課のお姉さんや地域の交通指導員の方に、横断歩道の渡り方や信号の見方などを教えていただきました。保育園の前の道路は交通量が多いため、散歩に行くときだけでなく、保育園の登園、降園の時も気をつけてもらいたいと思っています。



**大きいお芋掘ったよ!**  
 6月にぞう組2年生がさつま芋の苗を植えて約半年。いよいよ芋掘りができるということで、きりん組とぞう組のお友達で芋堀に行きました。2回に分けて掘ってきましたが、予想していたよりもはるかに大きくなっていて、子どもたちも大喜びでした。お世話になった畑の持ち主の方にもみんなでお礼を言って、保育園に持って帰りました。掘ってきたさつま芋は、焼き芋やスイートポテトや給食のおかずにと変身し、子どもたちはお腹いっぱい食べました。来年もまた経験していただきたいと思っています。



**3歳児・4歳児編**  
 きりん組とぞう組1年生は別府会場に行きました。保育園からピーコンまで頑張って歩きました。ミュージックカーニバルの迫力のある演技に思わず泣いてしまった子や楽しい歌や音楽にノリノリだった子など様々でしたが、みんな楽しかったです。

**5歳児編**  
 ぞう組2年生は、大分会場に体験遠足として行きました。電車に乗る体験や買い物をしたり、公共の場でのマナーやルールを知る体験をしました。ミュージックカーニバルの劇は間近で迫力のある劇を見ることが出来、子どもたちも大興奮でした。その後はレストランで食事したり、買い物したり、切符も自分で買ってみました。



ミュージックカーニバルを観に行きました





お客さんからたくさん拍手をもらい子どもたちには自信につながる、また一歩成長した姿を披露できました。

### 餅つき

少し雨が降ったり、やんだりでしたが無事に毎年恒例の餅つきが行われました。地域の方を招いて、昔ながらの臼と杵での餅つきを見たり、実際に杵をもってついたり楽しい餅つきとなりました。大きいクラスの子どもたちは、地域の方とあんなに丸めたり、餅をついたりたくさん食べたりの味の餅を食べたりと大忙しでした。小さいクラスの子どもたちも小さくちぎってもらいな



クリスマスランチでは、全クラス集まり手作り帽子をかぶって会食しました。全員で揃って食べる会食はとても華やかでワイワイと楽しくそして美味しく頂きました。

### クリスマス会

今年のクリスマス会は、保育士のパネルシアターを見たりクリスマスの歌を歌ったりして楽しみました。サンタクロースと園長先生のミニコントにもみんなで大笑いしながら、サンタクロースから各クラス待ちにまつたクリスマスプレゼントをもらいました。子どもたちも早く遊びたい！と目をキラキラさせていました。



地域の方と一緒に食べる、雑炊も「おいしい」と子どもたちもご満悦でした。



お昼寝の前にはサンタクロース再登場に驚きながらも一人ひとりへのプレゼントももらい、子どもたちは嬉しそうにスヤスヤと眠りにつきました。またひとつ楽しい思い出が増えたかなと思います。

今年度も残すところ3か月と少なくなり1年を締めくくることがまだまだ控えています。

子ども一人ひとりしっかりと触れ合い、子どもたちが毎日楽しく幸せに過ごせるように、職員全員で頑張っていきたいと思っています。

本年もよろしくお願ひします。  
野口保育所 所長 本庄 智宏  
職員一同

**苦情等相談窓口**

\*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。  
tel.0977-23-2827  
fax.0977-23-7520  
mail eikoen@live.jp

## 自立に向けた子どもたちの進学を支援する活動

### 栄光園ファミリークラブ (EFC) にご協力を!

社会的養護を必要とする子どもたちの養育は、基本的には措置費(税金)と皆様方の尊い寄付金で賄われております。これらは子どもたちが施設で生活し、巣立つために用いるもので、卒園後の自立支援まで十分ではありません。卒園後の職業選択の幅が大きく広がるうえで欠かせない大学や短大、専門学校などの上級学校への進学率は一般家庭の子どもたちとは大きな格差があります。それは、奨学金制度があるとはいえ、衣食住を整えて入学金や授業料などの進学資金を確保するには大変難しいものがあるためです。

栄光園では、過去に「足長おじさん」として支援してくださった方がおられたこともあり、また、「以前、「栄光園ファミリークラブ」を立ち上げ、団体として支援された方もおられます。しかし、この残りの資金も枯渇し始め、具体的にまったく身寄りのない子どもたちの進学に目途を立てることが難しくなってきました。

このような状況をご理解いただき、「栄光園ファミリークラブ(EFC)」と指定した特別寄付を賜ることができれば大変うれしく存じます。よろしくお願ひいたします。

事務局長 江口 敏一

## 栄光園のご支援者

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のごような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

皆様の上に神様の豊かな祝福がありますようにお祈りいたしております。

【2013年9月1日より2013年12月31日まで】  
(今回は掲載期間が異なっております)

### 2013年 賛助金

- 安部 保様 別府市
- 伊勢 方信様 別府市
- 宇戸美和子様 大分市
- 金谷 正明様 大分市
- 鎌田 宏子様 別府市
- 神鳥 慶子様 別府市
- 北九州復興教会様 北九州市
- (旬)コーワ精起様 東京都
- 佐々木雅明様 大分市
- 別府不老町教会婦人会様 別府市
- 増田 百枝様 別府市
- 南 範子様 中津市
- 宮沢 淑子様 大分市
- 門司教会様 北九州市
- 山口産業様 別府市
- 伊東 幸子様 別府市
- 井上せつ子様 大分市
- 上杉ちえ子様 福岡市

### 2013年 一般寄付

- 別府市
- 大分市
- 福岡市

### ご支援ありがとうございました。

- (株)AIC様 別府市
- 江口 敏一様 別府市
- 大宮遊技場組合様 さいたま市
- 大本歯科医院様 別府市
- 亀井 浩様 別府市
- 佐藤産婦人科医院様 豊後大野市
- 立花 旦子様 大分市
- ちはらコーポレーション様 別府市
- 匿名様 別府市
- 匿名様 別府市
- 匿名様 別府市
- 匿名様 別府市
- 友永 丈一様 別府市
- 長野 哲也様 別府市
- 南光物産様 別府市
- 日本競輪選手会大分支部 別府市
- 長谷川士郎様 別府市
- (旬)波津久養豚場様 白杵市
- 平野 八郎様 別府市
- 別府溝部学園短期大学様 別府市
- 松本小児科医院様 別府市
- 松本 常圃様 別府市
- 南立石地区社会福祉協議会様 別府市
- 吉井 建之様 大網白里市

### 2013年 特別物品寄付

- DVD・CD 池田絢子様
- さつま芋 諫山寛様
- フライドチキン 板井様
- みかん 上杉敬三様
- お米 笠口成男様
- 野菜ジュース 江藤雅代様
- サッカーボール等 大分県スポーツ用品協同組合様

- 梨 大分県なし研究会様
- お米 大分県農業共済組合連合会様
- フライドチキン 大本歯科医院様
- おもちゃ等 家具の丸高様
- 七五三記念写真 木村写真場様
- クリスマスプレゼント児童分 釘宮英子様
- 衣類・洗剤等 工藤卓元様
- 図書カード児童分 Kヘアーのお客様
- パン ココロト様
- クリスマスプレゼント児童分 三栄建設工業様
- クリスマスケーキ多数 ジャックさんと仲間たち様

- お餅等 上人OBソフトボールクラブ有志会様
- 食品等 杉町圭蔵・千穂子様
- 林檎 立花旦子様
- お菓子 匿名様
- お菓子 さつま芋・干し柿 (旬)豊田緑化様
- 野菜の苗 (旬)中島生花店様
- クリスマスケーキ多数 中村里子様
- 洗剤・衣類・文具等 南光物産様
- お菓子多数 日本競輪選手会大分支部様
- 鏡餅 日本出版販売様
- お菓子児童分 日本出版販売様
- 絵本大量 (財)日本聖書協会様
- 絵本等 日本出版販売様
- クリスマスケーキ多数 ニュードラゴン様
- 祝箸 (旬)はしふく様
- クリスマスファンタジア食事券 冬の祭典実行委員会様

- 野菜・クリスマスプレゼント等 フルゴスペル・イエス・キリスト教会様
- 映画DVD (株)プレナス様
- みかん・食品等 別府中央ライオンズ・ライオネスクラブ様
- お花の苗 別府ロータリークラブ様
- トイレットペーパー・お菓子等 南荘園町自治会様
- お米 本林敏治様

- 柿・銀杏等 山本宣雄様
- お餅・カレーライス 陸上自衛隊別府駐屯地第41普通科様
- 絵本等 労働金庫別府支店様

### 2013年 改築寄付

- 別府不老町教会様 別府市

### 2013年 招待・奉仕

- 小・中学生学習指導等 安東秀典様
- 七・五・三着付け エツチ美容室様
- クリスマスツリー点灯式招待 柳おおいだ観光サービス様
- 絵本読み聞かせ他 お話ボランティア様
- アイススケート招待 城島アイススケートリンク様
- 七・五・三写真撮影 木村写真場(旬)様
- 児童のヘアークット Kヘアー様
- お餅つき 上人OBソフトボールクラブ有志会様
- お餅つき 別府中央ライオンズ・ライオネスクラブ様
- ミュージックカーニバル招待 別府溝部学園短期大学様
- お花の整備等 別府ロータリークラブ様
- お餅つき・音楽演奏 陸上自衛隊別府駐屯地第41普通科様

### 賛助会員募集

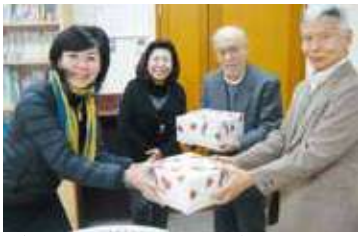
年会費、一口千円、但し、何口でも、分割可。  
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務局は、別府市南荘園町3組です。  
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。



# 支えてもらええる喜び、 そして感謝

児童養護施設 総主任 岡田 豊弘

栄光園は年間を通して多くの方々からさまざまな支援により支えられており、感謝の思いははかり知れませんが、別府ロータリークラブの方々には春夏秋冬、季節に応じて栄光園の花壇をきれいな花で彩ろうと子どもたちとともに花の苗植えをしていただいています。別府中央ライオンズクラブ、ライオネスクラブの方々、別府駐屯地の自衛官の方々は毎年、年末になると子どもたちと一緒に餅つきをしていただいています。ちはら21を運営するちはらコーポレーションは、チャリティゴルフを毎年開催しており、その収益金を寄付して下さっています。子どもの七五三にはエッチ美容室、キムラ写真館が共同し、着付けと写真撮影が毎年行われています。美容室のKヘア様は2ヶ月に一度来訪し子どもたちに散髪をして下さいます。また、クリスマス前になるとさまざまな支援者の方々がサンタさんになってお菓子や絵本、おもちゃのプレゼントをいただいています。その他、



ジャックさんと仲間たちの会ケーキ寄付



別府ロータリークラブ花の苗植え奉仕



三栄建設クリスマスプレゼント



釘宮様 クリスマスプレゼント寄付



七五三着付け・撮影奉仕



Kヘア一散髪奉仕



観光港点灯式招待



連合大分交流 ペットボトルピザづくり



別府競輪組合 クリスマスプレゼント寄付



別府中央ライオンズ・ライオネス・自衛隊 餅つき奉仕

社会経験や生きる力をもたせようと、さまざまな企業、団体、個人の方が催しものを企画し子どもたちと交流を共にしていただいています。長きにわたる支援により、施設としての恒例行事となつているものや思いがけない方々の出会いや素敵なプレゼントに子どもたちも一喜一憂しています。

いを胸に、私たちは「あたえてもらう」、「支えてもらう」ばかりではなく、地域やさまざまな方々にとって必要とされる、なくてはならない栄光園へと邁進していきたいと思ひます。

2013年11月16日付 大分合同新聞記事

ゴルフ大会の益金を 児童養護施設に寄付  
別府市の「ちはら」

別府市北浜の料飲店ちはら21を運営するちはらコーポレーションは14日、市内の児童養護施設栄光園にチャリティゴルフ大会の益金約70万円を寄付した。赤嶺リサ代表取締役は「何かの手助けをしたいと思っている人たちに、今後もチャリティを始めていきたい」と話した。江口敏一施設長は「皆さんの愛情が、子どもの成長に大きなプラスになります」と礼を述べた。

ゴルフ大会には181人が参加し、35社が協賛した。同社は2004年の新潟県中越地震を機に、同園などに寄付を続けている。

ちはらコーポレーションが栄光園に寄付金を贈呈

## 編集後記

平和の永続する日本を求める者にとって、政治の戦前回帰の様相には危惧の念を禁じえません。子どもたちの未来に希望の光を見いだせる社会であつてほしいものです。

多様な価値観の中から子どもたちは自分に合ったものを選び取り、自分のものとする訳ですが、平和を願い、意見が異なる人たちの相互理解ができる大人になつてほしいものです。

今回、栄光園だよりが月初めての発行にはなりませんでしたが、種々の事情にもよりますが、ニュース性からお届けする記事の区切りを前月の内容にするため、月の半ば以降の発行にさせていただきます。ご了承ください。

(敏)